

報道関係各位

## 応用地質、立命館大ほかと月面拠点建設のための 測量・地盤調査技術の確立を目指す

～JAXA「宇宙戦略基金事業」(第二期)に採択、  
月面インフラ構築に資する要素技術～

応用地質株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：天野 洋文、以下、当社)は、立命館大学などと共同で研究チームを組み、宇宙航空研究開発機構(JAXA)が公募した「宇宙戦略基金事業」(第二期)の「技術開発テーマ／探査等(月面インフラ構築に資する要素技術)」(課題名：月面拠点建設を実現するための測量・地盤調査技術の確立)に採択されたことをお知らせします。

### 背景

“月面は、世界各国において探査活動・開発活動の対象となりつつあり、2040年までに世界の月関連の市場規模は1,700億米ドル(約27.3兆円)に達するという試算も存在します。

この大きな市場も見据え、将来の月面経済圏の創出に伴う経済的機会を確実に捉えるためには、将来的な民間活動の段階的な発展による経済圏の構築を想定した上で、そのファーストステップとして全ての月面活動の前提となる月面環境に関するデータや月面での重要技術等を早期に獲得することが有効です。

また、これらを通じて、我が国が国際的なプレゼンスを発揮し、月面での活動実績を積み重ねることが、将来的な月面活動における国際規範・ルール形成、国際市場の獲得等に向けて極めて重要です。”

引用：[宇宙戦略基金「月面インフラ構築に資する要素技術」](#)

### 事業内容

立命館大学を代表機関とし、研究テーマ「月面インフラ構築に資する要素技術」は、今後予見される国内外の月面活動を見据え、当社、大学、研究機関などとともに、月面環境分析(アセスメント)および重要技術の早期実証を目指します。

## 今後の展開

当社は、地球上で培ってきた先進的な地盤の可視化技術と、それに必要な計測技術を有しています。今回採択された研究チームの一員として、これらの知見やノウハウを活用し、月面インフラ構築に不可欠な月面地盤の状況把握や地盤調査技術の確立に貢献してまいります。

参考：立命館大学

[宇宙戦略基金事業（第二期）「月面インフラ構築に資する要素技術」に採択～月面拠点建設を実現するための測量・地盤調査技術の確立を目指す～](#)

## 応用地質株式会社 会社概要

応用地質株式会社は「人と地球の未来にベストアンサーを。」を経営ビジョンに掲げ、地球科学に基づく深い知見とデジタル技術のイノベーションを通じて、困難な課題の最適解を追求しています。これまで「地質工学の創造」を礎に、地質・地盤に関する専門知識を深め、社会基盤の整備や災害に強いまちづくり、環境保全に貢献してきました。自然災害の激甚化やインフラの老朽化といった課題が増大する中、私たちはすべてのステークホルダーと共に持続可能な社会の実現に向けて新たな価値を創造し続けます。

社名：応用地質株式会社

代表者名：代表取締役社長 天野洋文

設立：1957年（昭和32年）5月2日

資本金：161億7,460万円

所在地：東京都千代田区神田美土代町7番地

事業内容：

- 道路・都市計画ならびに土木構造物及び建築構造物などの建設にともなう地盤の調査から設計・施工監理にいたるまでの一連の技術業務
- 地すべり、崖崩れ、地震災害、風水害等の調査、自然災害リスクの調査、解析、予測、診断、評価から対策工にいたる技術業務
- 環境保全・環境リスクの調査、解析、予測、診断、評価から対策工にいたる技術業務
- 地盤・環境・災害情報等、地球に関する情報の収集、加工、販売
- 各種の測定用機器・セキュリティ機器・ソフトウエア、システムの開発、製造、販売、リース、レンタル

URL：<https://www.oyo.co.jp>

### 取材に関するお問い合わせ

応用地質株式会社 経営企画本部 担当：井上・河野

TEL：03-5577-4501 E-mail：[prosight@oyonet.oyo.co.jp](mailto:prosight@oyonet.oyo.co.jp)

応用地質株式会社 PR事務局（リプレイ内）担当：片山・楚南

TEL：03-6435-8193 E-mail：[oyo\\_pr@replay-pr.co.jp](mailto:oyo_pr@replay-pr.co.jp)

